

東広島市森林管理マスタープラン（案）に係るパブリックコメント（意見公募）
の結果について

1 募集結果

募集期間	令和4年4月25日（月）～令和4年5月24日（火）
意見提出者数	12件（個人：3、団体：9）
提出件数 （提出方法内訳）	35件
意見等への対応	（1）意見を計画に反映するもの うち5件 （2）意見の内容 ①計画の内容に関する意見 うち12件 ②計画の実現に向けた具体的な方法等に関する意見 うち14件 ③その他 うち9件

2 提出された意見に対する市の考え方

（ご意見については、趣旨が変わらない範囲で一部表現を調整しています）

受付 番号	意見 番号	地域	年齢	内容	対応の考え方 （修正の有無の整理）
①	1	八本松	80代以上	<ul style="list-style-type: none"> 森林の役割は幅広く多くありますが、健康的で快適な生活空間の創造も一つの役割です。 人々が山に入ること、森林に興味を持たせること、木工教室で木に触れること等を進めることが大切と思います。 特に森林浴の効果（森林セラピー）は大いにPRすべきと考えます。「美肌ホルモン」マイオネクチン分泌には山歩きが一番です。免疫力（NK細胞）のアップにも繋がります。 	ご意見を踏まえ、市民が森林や木に触れる機会の創出となる取組を推進し、森林の多面的機能の発揮に寄与できるよう検討して参ります。
②	1	八本松	70代	<ul style="list-style-type: none"> 東広島市は林業が盛んではない。まずは持続可能な産業にするために木質バイオマスの有効利用を図る。 木質バイオマスでは、熱利用が取り組みやすい。 例えば、夏にオープンする八本松の道の駅や西条にオープンするイズミのショッピングセンターに温浴施設を作り、燃料に木質バイオマスを供給することで、市民は肌身で森林、木質バイオマスの大切さを知る（ことができる）。 	ご意見を踏まえ、本市の地域特性を活かした持続可能な木質バイオマスの有効活用について、関係者等と検討して参ります。

③	1	八本松	50代	<ul style="list-style-type: none"> 東広島市の山に、下記の物が有れば日本全国から東広島市へ来て頂け更に、大会やイベントを開催すれば、山を利用出来き、山の保全活動に携わるボランティアが増え山の保全にも繋がると思い提案させていただきます。 <ol style="list-style-type: none"> ランニングブームなので、トレイルランニングが出来るように山を整備し 気軽に山に入れるようにする。初級 中級 上級コースの作成。 コロナで自転車を使用する方が増えてきたので、マウンテンバイクが走行出来る様に 山を整備する。初級 中級 上級コースの作成。 	<p>ご意見を踏まえ、森林の保全にも繋がる多様な活用について、検討して参ります。</p>
④	1	八本松	40代	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の施策を進めていくために、取組内容に「東広島市の森林調査研究支援」「市民や森林施業者向けの森林について学ぶ機会の創出」が必要なのではないかと思う。記載されているものに含まれるのであればよい。 	<p>「東広島市の森林調査研究支援」については、基本方針1「市民がともに活用できる森づくり」(2)「市民・地域・企業等による主体的な里山の活用の推進」「(ア) 森林に関わる機会の創出」における具体的取組として実施する「地域・団体による取組の活動支援の実施」に位置付けています。</p> <p>また、「市民や森林施業者向けの森林について学ぶ機会の創出」についても、同じ、基本方針1「市民がともに活用できる森づくり」(2)「市民・地域・企業等による主体的な里山の活用の推進」(ア) 森林に関わる機会の創出に位置付けています。</p> <p>具体的な事業の推進に関しましては、ご意見を踏まえ、今後検討して参ります。</p>
	2	八本松	40代	<ul style="list-style-type: none"> 地域別森林・林業施策の振興について、西条地区は「先導するまち」となっているため、情報収集発信、学びの場としての中心機能という取組が入ると良いのではないか。 	<p>ご指摘いただきました「1地域の概要」における「市の中心的機能」とは、この度の計画における視点だけでなく、市全体としての全般的な機能を指しております。</p>
⑤	1	広島市	40代	<ul style="list-style-type: none"> 東広島市の森づくりのビジョン「基本理念」と「基本方針」(P47～)にて、1～3の各基本方針内容や具体的施策について、それぞれの項目でSDGsのどこにかかるか明記した方がより目的が鮮明になり伝わりやすいと感じた。計画策定に際する視点において、SDGsの達成を目指すことが示されており、本案が東広島市SDGs未来都市計画と関連づけられていることから、現在明記されているSDGs目標13,15,17以外もしっかり伝えることが重要と感じた。 <p>・アンケートより、森林に対して市民の意</p>	<p>ご意見を踏まえ、V. 東広島市の森づくりのビジョン(基本理念と基本方針)における「取組内容」のそれぞれに関連するSDGs目標を明示するよう修正します。</p>

⑤			<p>識が低い・関心がない割合が大きいことから、各目標を明記することで SDGs の視点から東広島市の森づくりに関心を持つ市民の参画に繋がると感じた。</p> <p>(庄原市の22世紀の庄原の森林(もり)づくりプランでは、施策ごとに各目標が記載されており、パートナーシップを取りやすく感じている)</p>		
	2	広島市	40代	<p>・広島県の「第4期ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」では、県民の理解促進の取り組みにおいて、「木育活動」が明記されている。東広島市の課題でもある若者が山への関心が薄い点について、育児等と、木と親しむ「木育」を結びつけ事業展開していくことを謳うことで次世代を担う若い市民に対して本プランの必要性を理解してもらおうきっかけになると感じる。</p>	<p>木育の推進については、森林環境教育の中の一つとして、将来的な担い手育成の視点で基本方針1「市民がともに活用できる森づくり」(2)「市民・地域・企業等による主体的な里山の活用の推進」「(ア)森林に関わる機会の創出」に位置付けていると認識していますが、一般的な呼称として別に取り扱われることも多いことから※、具体的取組の文章を一部修正いたします。</p> <p>・取組内容5行目 「森林環境教育」⇒「森林環境教育等」</p> <p>・具体的取組2行目 「森林環境教育の推進」⇒「森林環境教育及び木育」</p>
⑥	1	高屋町	70代	<p>・団地周辺の森林整備を実施しているが、伐採した里山林整備事業を継続して実施して行き次世代の「子」や「孫」がここに住んで良かった、ここが私たちの故郷ですと誇れる里山づくりを実施するつもりである。里山部会で実施している、作業について、市の方から要望等があれば聞かせていただきたい。</p>	<p>本計画における基本理念でも「未来につながる森づくりー市民が誇れる持続可能な東広島森づくり」を掲げております。今後とも里山林整備の推進にご協力よろしくお願いたします。</p>
⑦	1	高屋町	60代	<p>・自助、共助、公助の考え方でプランを整理したとき、共助に該当する活動の可能性があるかどうかを見極める必要があるのでないか。</p>	<p>本計画においては、基本理念に掲げる森づくりを行うために必要な視点として「価値」「防災」「継承」の3つに分類して整理しておりますが、ご提案いただいた地域やコミュニティなど、防災面において周囲の人たちが協力して助け合うことを指す「共助」につきましては、基本方針2「市民がともに取り組む安心安全な森づくり」の具体的施策(2)「市民・地域による自発的な森林整備」(イ)「地域住民による自主的な森林管理の推進や防災意識の向上」において、推進する内容となっております。</p>

⑦	2	高屋町	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣被害対策の観点から森林プランの中であるが、農地と森林との緩衝地を作る以外の方法も十分検討できないか。 ・例えば、動物が人の匂いを嫌って近づいてこない事が前提となるが、山の尾根部分に小道を作りマラソン大会、遊歩道、桜見物（江戸時代に江戸では洪水対策として堤の上に桜を植えて沢山の方に来てもらい堤を踏み固めた故事もあり）、コロナ下でのマスク不要の外遊びの場所提供、等々人が自然と集まるものを一緒に検討する。 ・これらは地域が主体となって申請するのでどんなものをするかは各地区の意向を尊重し、市からの補助（作業は地元か、大学生、材料を市が補助）により行うことで市の財政負担も軽減する。とりあえずどこかの地区で実証してみて効果があるようであれば他地区にも広げて行く。 	<p>ご意見を踏まえ、鳥獣害被害対策にも繋がる森林の多様な活用について、検討して参ります。</p>
⑧	1-1	高屋町	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市の大部分の森林が私有林であり、松くい虫、塩害などの影響で放置状態にある。 ・この状態を改善するためには森林の管理・活用を事業として推進できる体制の確立が重要である。 ・森林組合頼みの事業推進では私有林の多い東広島市の森林整備を進めることは予算面から難しい。 ・自伐型林家認定制度の設立の提案 木の駅事業への出荷量 5t/年以上などの基準をクリアする林家を、自伐型林家と認定し、事業推進のインセンティブとなる優遇策を策定する。 	<p>ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>
	1-2	高屋町	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅事業の強化 自伐型林家からの出荷に対してプレミアムとして、5000円/tの里山権を付与する。里山権は森林整備に繋がるものの購入、支払いに利用できるものとする。 	<p>ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>

⑧	2 - 1	高 屋 町	6 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・里山再生事業推進体制の確立 森林の伐採、植林、保育による里山再生のため、「伐採、搬出・運搬、木質バイオマス燃料の作成、小型バイオマス発電の実施」この一連の流れを東広島市として確立する。 ・小型バイオマス発電所は「東広島スマートエネルギー株式会社」が担うことが適当、設置場所は賀茂バイオマスセンターが適当。 ・また、植林に際しては、林業の採算性向上が期待される広島県で研究の進んでいる早生樹種であるコウヨウザンを植林する。 	<p>バイオマス資源としての利活用を通じた里山の再生につきましては、ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p> <p>また、「東広島スマートエネルギー株式会社」の具体的な事業に関する内容につきましては、関係部局と情報を共有いたします。</p>
	2 - 2	高 屋 町	6 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・薪づくり事業推進体制の確立 「里山整備、薪づくり、薪活用」この一連の流れを東広島市として確立する。行政は、薪ストーブ、薪ボイラー（給湯器）など薪燃料設備利用住宅の拡大を応援する。 ・また、行政は薪づくり協議会を設立・運営し、自伐型林家などと薪利用者のニーズのマッチングを応援する。（補助金及び里山券の活用） 	<p>ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>
	2 - 3	高 屋 町	6 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・竹堆肥事業推進体制の確立 「竹林整備、竹チップ・竹パウダーの作成、竹堆肥の作成、竹堆肥の活用」この一連の流れを東広島市として確立する。 ・行政は、竹堆肥の効能を明示し、竹林整備者、竹チップ・竹パウダー作成者、竹堆肥作成者、竹堆肥活用者のマッチングを行う。（補助金及び里山券の活用） 	<p>ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>
	3	高 屋 町	6 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・「東広島市の森づくりにおける課題」をベースに、早急な具体的な実行計画の策定、数値目標の設定が必要である。そして、毎年の効果の確認と計画の見直しが重要である。 	<p>数値目標については、内部における進捗確認を目的に基本方針それぞれに下記のとおり設けているところですが、本計画自体が具体的な事業を記載したアクションプランではなく、森づくりのビジョンであることから計画には記載していません。</p> <p>毎年の確認と必要に応じた見直しは行って参ります。</p>

⑨	1	河内町	80代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業に関心を持てる担い手育成が最目緊急の課題と考える。 ・森林・林業に魅力が持てず、無関心な山林所有者が多い中、一部の所有者が、森林整備の必要性を強く思っても何から始めてよいか分からないのでその方策を計画に入れてほしい。 	<p>担い手育成につきましては、で基本方針3「次世代に繋いでいける森づくり」(1)「森づくりを進めるための体制整備」(エ)森林・林業事業体の担い手育成の推進」に位置付けております。</p>
	2	河内町	80代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成の推進では、例えば「里山林業経営リーダー養成講座」の開設を10年計画に入れてほしい。 ・人物金情報が経営には必要だが、一番は実施しようとする人の育成が一番重要と考える。 	<p>具体的な事業の推進に関しましては、ご意見を踏まえ、今後検討して参ります。</p>
	3	河内町	80代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・自伐林業では、災害の起きない林内道(軽トラの通る搬出方法)の造成方法、経費もあまりかからない方法と思う。 	<p>ご意見ありがとうございます。 ご提案いただきました作業道の作成方法につきまして、参考事例とさせていただきます。</p>
	4	河内町	80代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある里山林には、スーパー松の植林で、地域特産物としてマツタケの生える、マツタケ林造成等、林業経営の確立を計画されるようお願いしたい。 	<p>植栽樹種や将来的な目標林の設定については、森林所有者の意向によるところですが、ご意見を踏まえ、魅力ある里山づくりについて、検討して参ります。</p>
⑩	1	黒瀬町	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在、山の保全管理として、桧の苗木を植林しているが、東広島地域は、昔は松茸の産地だったので、松くい虫に強いスーパー赤松の苗木を植林して、松茸の産地として復活させてはどうか。 	<p>植栽樹種や将来的な目標林の設定については、森林所有者の意向によるところですが、ご意見を踏まえ、魅力ある里山づくりについて、検討して参ります。</p>
⑪	1	広島市	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・1策定の主旨(2)2行目「林業分野」は「森林・林業分野」ではないか。 <p>理由：森林管理マスタープランの内容は、林業分野より森林分野についての記述がほとんどである。</p>	<p>概要版の記載につきまして、ご意見を踏まえ、下記のとおり修正いたします。</p> <p>なお、概要版につきましては、パブリックコメントのご意見を踏まえ、修正等を行った本編に基づき、体裁等を整えた最終版を作成する予定です。</p> <p>1. 策定の主旨 (2)計画の位置づけ 「林業分野」⇒「森林・林業分野」</p>

⑪	2	広島市 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・2国内及び東広島市の森林の状況森林の疲弊は、将来を担う森林教育の不足と思考されるので次世代を担う森林教育の充実が必要ではないか。 <p>追加記載：森林所有者の境界は、高齢化に伴い、森林への依存度が薄れて、不明確になりつつある。</p>	<p>ご意見を踏まえⅢ．国内及び東広島市の森林の状況「2．東広島市の森林の現状とその背景及び経緯」p．22（地籍調査の進捗に関する箇所）の2行目に下記のとおり追加します。</p> <p>（原文）一方、豊栄町、西条町、安芸津町の一部では未完了の区域もあります。</p> <p>（修正文）一方、豊栄町、西条町、安芸津町の一部では未完了の区域もあります。 <u>また、地籍調査が終わっている森林であっても、森林への関心が薄れたこと等から適切な森林情報の継承がなされないなど、森林所有者の境界は不明確になりつつあります。</u></p>
	3	広島市 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・③森林の情報が継承されておらず、山林の状況が把握できていない。 具体的に森林教育、森林境界の明確化の水源涵養（酒どころ水、ため池の多さ）など取り組みを記載してはどうか。 <p>表中 施策欄 3継承に（2）人材の育成追加記載</p>	<p>人材の育成につきましては、継承の観点におきまして、「森林・林業の担い手育成の推進」として位置づけているところで。</p> <p>具体的な事業につきましては、ご意見を踏まえ、今後検討して参ります。</p>
⑫	1	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の「未来につながる森づくりー市民が誇れる持続可能な東広島森づくりー」の最終ビジョンが想像できない。 ・「市民が誇れる：すなわち市民が自慢できる森づくり」が記載されている箇所はどこか。 ・「市は面白そうなことをやっているな…いっしょにやってやろう！！」という気にさせるようなことが見当たらない。 	<p>具体的な事業につきましては、ご意見を踏まえ、今後検討して参ります。</p>
	2	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について、もっと掘り下げが必要。 ・20歳未満の児童、生徒、学生にも聞いてみる必要がある。 	<p>ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>
	3	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・策定方法はどのようにされたのか。 ・一般的な行政のまとめる手法と思うが、策定を担当する市の職員や幹部、市議員の方にも、地域の活動に参加して貰い、生の実態を身でもって理解して頂くとともに、成果をあげている都市にも視察の上、東広島市は何をすべきかをしっかり討論して頂きたい。 	<p>策定体制についてはp.7に記載しております。ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>

⑫	4	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・名称はなぜ森林管理なのか。管理ではなく、「市民と一緒に」ならば森づくりマスタープランでもよいのではないか。 	<p>「森林管理」とは、森林がもつ多様な機能と価値を維持し、活かしていくために必要な管理を行うことです。</p> <p>森林の多面的機能を効果的に持続的に発揮していくためには、森林を適切に活用し、森林の状態を把握しておく必要があると認識しております。</p> <p>森林の機能を十分に活かしていくために必要な視点として「森林管理」という表現を採用しております。</p>
	5	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的機能と多面的機能という難しい用語が最初に出てきて、次へ挫折する人が多かった。 	<p>用語については巻末に用語集を設けるほか、コラムに解説を記載しております。</p>
	6	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・策定の体制を見るに、今後の実施計画、予算化等につなぐのかが見えない。 	<p>本計画の推進体制についてはp.112に記載しております。ご意見を踏まえ、今後の事業の推進について検討して参ります。</p>
	7	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・p.15 森林の状況に竹の進出の記載がない。竹林は地盤の軟弱化となり防災面で重要な要素となり、状況確認が不可欠と思う。 	<p>ご意見を踏まえⅢ. 国内及び東広島市の森林の状況「2. 東広島市の森林の現状とその背景及び経緯」p. 15 (1) 森林現況とその背景及び経緯の最終行に下記のとおり追加します。</p> <p>また、その一部では、竹林の拡大が見られる地域もあります。</p>
	8	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標はないのか。何かしらの目標がないとやる気にならないのではないか。 	<p>(⑧-3と同様)</p> <p>数値目標については、内部における進捗確認を目的に基本方針それぞれに下記のとおり設けているところですが、本計画自体が具体的な事業を記載したアクションプランではなく、森づくりのビジョンである性格上から計画には記載していません。毎年の確認と必要に応じた見直しは行って参ります。</p>
	9	河内町 70代	<ul style="list-style-type: none"> ・p.49に記載の「価値」の推進とは何か。創出ではないのか。 	<p>基本方針に掲げる森づくりを行うために必要な視点について記載している箇所ですが、下記のとおり修正します。</p> <p>(原文)</p> <p>3つの基本方針に基づく基本施策及び具体的施策は、それぞれに関わりあい、影響する関係となっていることから、「価値」「防災」「継承」のいずれも推進することが必要です。</p> <p>(修正文)</p> <p>3つの基本方針に基づく基本施策及び具体的施策は、それぞれに関わりあい、影響する関係となっていることから、いずれにおいても推進することが必要です。</p>

⑫	1 0	河 内 町	7 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 69 ゾーニングがなぜ基本方針の次世代に繋いでいける森づくりに繋がるのかが分からない。管理からの発想ではないのか。「継承」を望むのであれば、東広島市全域が一体になって活動すべきではないのか。 	<p>基本理念に掲げる森づくりについて、一体となって取り組むことは必要ですが、具体的な森林整備を行う上で、森林の多面的機能を発揮するためには、地形等の自然条件や路網等の生産基盤を考慮する必要があります。</p> <p>ゾーニングは地域の特性に応じた目標となる森林の姿とそれを目指すための森林整備の方法を定めた方針です。</p>
	1 1	河 内 町	7 0 代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域毎に「取組の方向性」と「地域特性を生かした取組」については、下表のように、現在の組合・施設やボランティア団体の活動を推進するものとなり、新たな取り組みが見られない。 	<p>当該方針については、現状行われている活動や実績を踏まえ、記載しているものです。</p> <p>新たな取り組みにつきましては、ご意見を踏まえ、今後検討して参ります。</p>